

弱視児用書見台

京 自助具館

代表 近藤千津子

1. 機器の概要
2. 主な対象者と使用場面
3. 類似する機器との違い
4. 実際の導入、活用事例
5. 製作までの経緯と今後



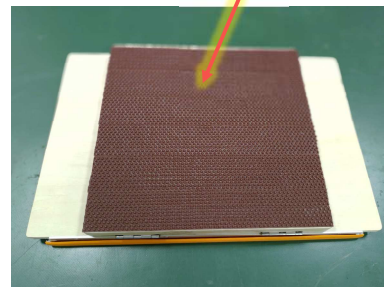
1

1. 機器の概要

- ・背景が黒
- ・マグネットが使用できる
- ・底面は全面滑り止めシート



(表)



(裏)

2

2. 主な対象者と使用場面

- ・主に未就学児から小中高生
- ・持ち運びたい人
- ・普段は収納したい人



3

3. 類似する機器との違い

- ・子供が持ち運べることが第一条件だったので、軽量・小型に特化している。
- ・子供が一人で組み立てるようにシンプルな構造。
(パーツをそぎ落として、必要最低限のものになった)
- ・構造が簡潔なので、修理やオプションの追加が容易。
- ・受注生産なので、注文者の希望に合わせてセミオーダー品を作ることできる。

4

4. 京都市の「あいあい教室」での使用例

- ・就学前の3～5歳児が使用。小学校でも継続して使用。



5

保護者や先生のコメント

- ・軽くて持ち運びがしやすい。
- ・滑り止めがしっかりしていて、文字を書くときなどに動かないので使いやすい。
- ・角度の調節も3段階あって用途に合わせて使い分けができるところが良い。
- ・マグネットが使えるので、プリント類の読み書きの時に使える。
- ・市販品は木目調がほとんどだが、背景を黒にすることでコントラストが良くなり、わかりやすくなる。

6

使い方1

- 3段階に角度調整ができる



7

使い方2

- プリントをマグネットで留めた状態の使用例



8

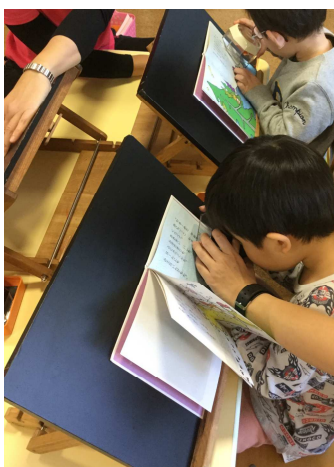
使い方3

- ・平にして書く作業もできる



9

5. 製作までの経緯と今後



使用中の書見台

・製作依頼を受けたきっかけ

使用中の書見台の修理が、何度かあったのち新調することになった。

新調を機にデザイン・構造の見直しをした。

要望を聞き取り試作品の製作をして、試してもらい改善を繰り返した。

10

・ 現在

何度も追加注文をいただき、20台以上の納品をすることができた。
追加注文のたびに、小さな変更をしながらより良いものへ改良している。

・ 今後

他所からも受注もいただき、次の追加注文を目指して要望に沿ったものを試作開始している。

受注先が増えても、どんな要望にも応えられるよう技術の向上に励んでいる。

・ ご清聴ありがとうございました。

11

連絡方法

「京 自助具館」

〒600-8127

京都市下京区梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都2階

京都市市民活動総合センター MB No.60

E-mail : kyoto.jijyogu@gmail.com

電話 : 070-2662-3115

URL : <https://kyojijyogukan.com>

12